

全国養護教諭  
連絡協議会NO.66  
会報平成25年3月 発行  
全国養護教諭連絡協議会  
代表者 堀田 美枝子  
東京都港区芝公園 2-6-8  
日本女子会館 5階  
TEL.:03(3433)5767  
FAX.:03(3433)5768全国養護教諭連絡協議会ホームページアドレス <http://www.yougo.jp>

## 時代の変化に柔軟に対応できる養護教諭

全国養護教諭連絡協議会

副会長 永田 智恵子



会員の皆様には、日ごろから本会の運営等につきまして、深いご理解とご支援、ご協力をいただきありがとうございます。

去る2月22日、メルパルクホールにおいて、第18回研究協議会を多くの方々のご参加を得て盛会に開催できましたことを深く感謝申し上げます。

近年、社会環境や生活環境の急激な変化はとどまることなく、子どもたちの心身の健康に大きな影響を与えており、健康課題は複雑多岐にわたっています。一昨年の東日本大震災では子どもの心身の健康や子どもの生活の安全安心について改めて考えさせられることが多くありました。今後は、被災した子どもへの心のケアがますます重要になってきます。

そのような健康課題を解決するためには、関係機関や地域との連携が不可欠であり、養護教諭の役割にますます期待が寄せられています。先の中央教育審議会答申（平成20年）では、養護教諭は、学校保健活動の推進に当たって中核的な役割やコーディネーターの役割を担う必要があると明記されました。養護教諭の役割は時代のニーズにより刻々と変化し、それに柔軟に対応することが求められています。

さらに、平成24年8月には中央教育審議会から「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」が出されました。その中で、「教員の修士レベル化」「資質向上」が取り上げられ、養護教諭も一般教員と同じように「修士レベル化」を図っていくことが求められています。

全国養護教諭連絡協議会では、今年度も、現職研修の制度化や複数配置の拡充、養護教諭の養成課程の充実に関する内容について、文部科学大臣あて要請要望を行いました。

また、日本養護教諭養成大学協議会会長 岡田加奈子先生をはじめ3人の先生をお迎えし、養護教諭の専門性及び資質向上について、それぞれの立場から意見交換を行いました。今後、増々連携を深めて行きたいと考えています。

最後になりましたが、本会は今後も養護教諭の職能団体として、養護教諭の職の充実発展のため取り組んでいきたいと考えています。各研究会及び会員の皆様には引き続きご理解とご協力をよろしく願いいたします。

祝

第62回全国学校保健研究大会 表彰式にて  
(平成24年11月8日 於熊本市)

## 文部科学大臣表彰

水戸 俊子先生(秋田県)  
竹下 君枝先生(東京都)  
上野 清美先生(岐阜県)  
友利 和子先生(沖縄県)北見 礼子先生(茨城県)  
奈良 淑子先生(山梨県)  
佐子 泉先生(岡山県)今泉 弘子先生(千葉県)  
飯塚百合子先生(長野県)  
松尾 綾子先生(佐賀県)

受賞おめでとうございます

## 全国養護教諭連絡協議会に望むこと



公益財団法人日本学校保健会 会長 横倉 義武

日頃から学校保健の担い手としてご活躍されておられます全国養護教諭連絡協議会の皆様には、心より敬意を表します。

これまで養護教諭の皆様は、戦前の学校看護婦、養護訓導を経て現在まで百年を超える歴史のなかで、その時代の健康課題への対応や健康教育の推進などに組み込まれ、また、健康教育につながる兼職発令や管理職への登用など職制の上でもご尽力されてこられました。貴会が平成3年の発足から今日まで発展を続けていらっしゃるのも、時代の流れと共に先人の方々のご功績の賜物とお察しいたします。

私も地元福岡県みやま市の中学校医として養護教諭の先生方と関わってまいりましたが、養護教諭の役割は、学校健診などの保健管理をはじめ、保健指導や健康教育のほかにも、学校感染症や心の問題などの現代的な健康課題への対応も含め、ますます多岐にわたっています。健康相談や学校環境衛生の面においても学校のコーディネーター役として学校三師や専門医、関係機関との連携強化も図っていかねばなりません。

先ごろ、学校での懸命な対応も実らず、アレルギー疾患による残念な出来事がございましたが、我々学校保健に携わる者は、いつの時代においても子どもたちの健やかな成長を願って日々活動を行っているところです。

日本学校保健会では子どもたちが安心して安全に学校生活を送るための学校生活管理指導表をはじめ、アレルギー疾患対応のガイドラインや心臓・腎臓疾患児の対応マニュアル等を発行しています。また、子どもたちが将来にわたって健康に暮らせるように喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育などの指導書や実践事例集も随時発行しております。学校や地域での感染症対策としては、インフルエンザや麻しんなど早期検知、対応に役立てられる学校欠席者情報収集システムの普及を推進しております。

このような本会の出版物や活動を学校の保健室だけでなく、皆様方の研修会や研究会等で十分にご活用をいただき、次代の学校保健を担う若い世代の方々をはじめ皆様の資質向上へとつなげていただければ幸甚でございます。また、これからも本会の構成団体として本会の事業・活動にご支援とご協力を賜れますようお願い申し上げます。

末尾になりましたが、今後とも学校保健の充実に向け、皆様のさらなるご活躍と貴会のご発展を祈念いたします。

全日本中学校長会 会長（新宿区立西早稲田中学校長） 三町 章



近年、感染症やアレルギー疾患、メンタルヘルスなど児童生徒の現代的な健康課題が生じています。昨年はいじめが原因と思われる生徒の自殺やアレルギー疾患のある児童が学校給食によって死亡するという痛ましい事故の報道もありました。また、不登校についても引き続き大きな課題です。このように、子どもたちの心身の健康問題が多様化、深刻化する中で、学校は適切に対応することが強く求められています。そのため学校保健の分野では、地域の医療機関等との連携による児童生徒の保健管理の充実や校内における組織的な保健指導の充実が重要であり、その重要な分野にかかわる養護教諭への期待は大きいものがあります。

あるベテランの養護教諭に、その職をどのように受け止めているか聞いたことがあります。「『心身の健康』をキーワードとしたコンビニエンス・ストア」との回答でした。多方面にアンテナを張り巡らせ、問題解決のために様々な方とチームを組む際のコーディネーターに力を入れて取り組んでいるからだそうです。養護教諭という職への自負の表れと感じました。児童生徒が自らの健康を主体的にとらえられるようにと、個別の健康相談や学級・学年・全校朝礼等での講話、生徒会・委員会活動への関与等。子育てへの共感を通じた保護者との信頼関係の確立や学校医や子ども家庭支援センター等の活用を図るためのきめ細かな連携。また、校内における具体的な課題として、関係教職員や管理職との連携による、感染症対策、食物アレルギーへの対応、児童虐待や不登校への対応、特別支援教育への取り組み等。まさに校内での健康課題を解決するためのキーパーソンとして多方面で活躍されていました。

貴会は教育に関する実践的専門家集団です。その専門的な立場から文部科学省等への意見具申による学校教育の改善への寄与や、多くは一人職種である養護教諭が職務を遂行する上で必要な研修や最新情報の提供などを通して、各学校の子どもたちの心身の健康を守り育てていけますよう、会の活躍・発展を祈念いたします。

## 第18回研究協議会報告

平成25年2月22日(金) メルパルクホール東京

### 特別講演「日本人の忘れもの—寅さんに学ぶ—」

静岡理工科大学教授、ノースカロライナ州立大学併任教授 志村 史夫先生

特別講演では、「日本人の忘れもの—寅さんに学ぶ—」と題し、静岡理工科大学の志村史夫先生をお迎えして、本当の「豊かさ」とは何か、本当の「幸せ」とは何か、「衣食足りた”日本人はどのように生きるべきか、世の中、銭金、勝ち負けだけじゃあ哀しい。とフーテンの寅さんを通しての笑いあり、涙ありの心温まるお話でした。



#### 参加者の声

- ・「量より質」深みのある言葉が心に響いた。
- ・「豊かな心の育成」と言われている中、まず、「足元」をよく見るように言われたような気がする。私たち大人が物質的なものに豊かさを求めているのは、子どもたちに「豊かな心」は語れない。
- ・先生のお話に心底同感しながら、目の前の生徒たちの携帯やネットにはまっている姿が思い出され、本当になんとかしなければというもどかしい思いでいっぱいになった。

### 基調講演「健康教育の推進と養護教諭の役割」

#### —学校保健の課題とその対応—

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育企画室健康教育調査官 岩崎 信子先生

昭和47年と平成9年の保健体育審議会答申を経て、平成20年の中央教育審議会答申を踏まえ「学校保健安全法」が制定され、養護教諭の役割についても明確化が図られました。昨年（財）日本学校保健会で養護教諭の職務等に関する調査が実施され、その結果を基に学校保健の課題と対応についてのお話をいただきました。



養護教諭の職務「保健管理」「保健教育」「健康相談」「保健室経営」「保健組織活動」についての調査結果は、次のとおりである。保健管理では、救急処置に関する校内研修の企画の取組や健康観察の活用、保健教育では、養護教諭の授業参画と実施への取組、健康相談では、学校医等による企画・実施への取組や地域の関係機関等との連携、保健室経営では、保健室経営計画の必要性、保健組織活動では、学校保健委員会の実施等があげられる。

これらの課題解決に向けて求められる養護教諭の役割を再確認して、学校保健が学校経営に位置付けられ組織的な活動が推進され、養護教諭の資質の向上が図られることを期待したいと話されました。



## フォーラム「東日本大震災に学ぶ 養護教諭の専門性と役割とは」

講演に続いて行われたフォーラムでは、「時代の変化に対応した養護教諭の役割を追究する」という本研究協議会のテーマのもと、名古屋学芸大学大学院 教授 采女智津江先生をコーディネーターに迎え、東日本大震災で被災された養護教諭3人から意見を発表していただきました。

### 采女智津江先生から

災害時等の心のケアにおける養護教諭の専門性とその役割は21項目。養護教諭は、平常時から心のケアの体制づくりなどに積極的に取り組んでいくことが重要である。災害発生時には、養護教諭の役割が大きいことから、養護教諭自身のメンタルケアにも十分留意して取り組むことが大切である。



岩手県下閉伊郡山田町立織笠小学校

**村上貴美子 先生**

私にできることは「子どもたちとともにいること」であった。そしてそれが大切であることに気づくことができた。

仙台市立高砂中学校

**伊藤 香奈 先生**

児童生徒を笑顔で迎えてあげられる養護教諭自身の心の余裕が必要であり、養護教諭自身のストレスマネジメント力も高めておきたい。

宮城県石巻高等学校

**千葉久美子 先生**

「見守ること」「寄り添うこと」を重点に地域とつながりコーディネーター的役割を担った。「子どもたちとともに歩む」養護教諭でありたい。

### 参加者の声

- ・ 養護教諭という職を改めてステキだ、素晴らしいと思うことができました。自分自身の力を高めていけるように研修し、人から好かれ、頼りにされ、人とつながれる養護教諭でありたいと思った。
- ・ 養護教諭の対応が地域の方を支え、子どもたちを支え、職場の支えになる、頼りになる存在だったこと、養護教諭という職の素晴らしさを感じた。
- ・ 「養護教諭の専門性と役割とは」というテーマだが福島県の養護教諭の発表も聞きたかった。